

向島の催し、ニュースは
愛隣館研修センターへお
知らせ下さい。

向島・愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人 イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL (075) 621-3849
発行 平田 義一
編集 馬場園 慎一
関川 直子

センターってどんなところ?



向島ニュータウンに住む、お母さん方や子どもたちに「愛隣館研修センターってどんなところ?」という質問をすると、あるお母さんは「生協の集会をするところですよ」「学習塾」「アートフラワーの教室」などと答え、また子どもたちは、「映画会のあるところ」「教会学校」「ふうせん文庫」「そろばん教室」などと答えてくれました。

これらの答えは、すべて正解だといえるでしょう。教会学校の時だけ、ここに来る子どもらに比べれば、ここは、教会学校の場所であり、そろばんの時間だけ、ここに来る子どもらには、ここは、そろばん教室だと思っただけの事でしょう。

そこで、愛隣館研修センターで行われている活動を紹介するために、センターのニュースを発行して、愛隣館研修センターのこの地域にある意義などを広く住民に知らせる働きをしています。

愛隣館研修センターの設立当初からの目的は、地域のいろいろな人々に様々な形で利用していただくことが、一つの大きな事業ではありますが、私たちが主導する活動の主なものは、次のようなものがあります。

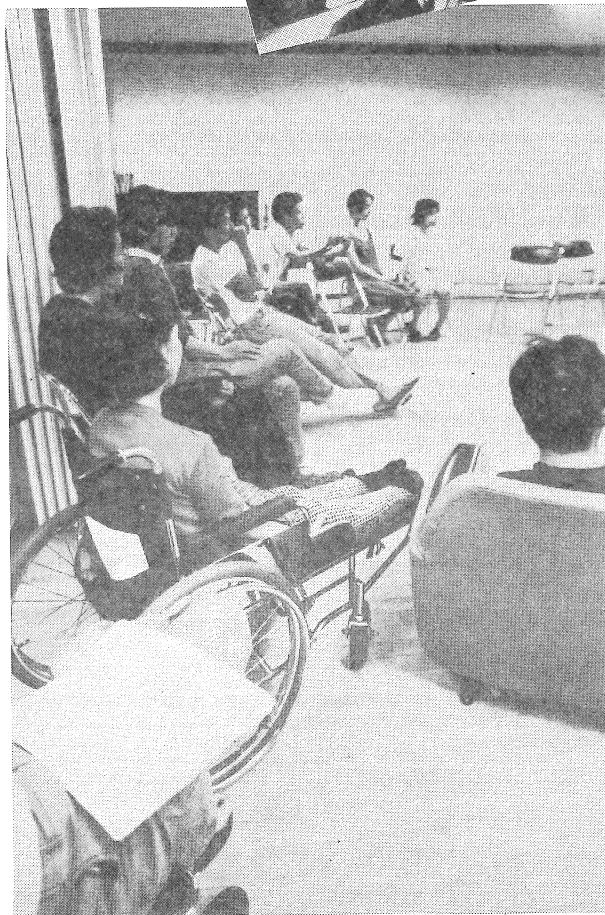
地域の

弱い立場にある人

と共に

◆ ◆ ◆
まず、愛隣館研修センターの一階部分が、空の鳥幼稚園と「障害」児の通園施設であることもあって、「障害」児と「健常」児とが共に集い、交わる場を創る事、また、「障害」児・者関係の研修交流、ボランティアグループの育成など、広く「障害」児に遊ぶ場を「ちな「障害」児に遊ぶ場を」と下の幼稚園のホールをお借りしてはまりました。月二回土曜日に小学校一年生から中学校一年生までの子どもたちが五十人程集まって来て、午前中、一緒に礼拝し、その後いろいろなことをして遊んでいます。土曜日には、幼稚園、保育園、保育園から小学校二年生まで四十人ほど、また、日曜日には、小学校三年生から中学校三年生まで四十人ほどの子どもたちが集まってきました。

◆ ◆ ◆
次に、愛隣館研修センターは、キリスト教の精神に基づいた施設ですので、伝道活動も開設以前から積極的に取り組まれてきました。故 荒木崇牧師が、太鼓を打ち鳴らして路傍伝道を始められたのを契機に



共に生きる 社会を目指す

愛隣館研修センター主事
平田 義



◆ 私たちの活動を 知って下さい ◆

◆ ◆ ◆
現在では、センターに場所を移して週に三回、月曜・土曜・日曜に教会学校の業(わき)を、日本キリスト教団世光教会や西小倉めぐみ教会の信徒らに支えられて続けています。月曜日には、幼稚園、保育園に就園前の三、四才の子どもたちが五十人程集まって来て、午前中、一緒に礼拝し、その後いろいろなことをして遊んでいます。土曜日には、幼稚園、保育園、保育園から小学校二年生まで四十人ほど、また、日曜日には、小学校三年生から中学校三年生まで四十人ほどの子どもたちが集まってきました。

◆ ◆ ◆
この地域に住む人々、特に弱い立場にたたき込まれている「障害」児や、お年寄り、在日韓国・朝鮮人、被差別部落の人たちと共に生き、共に育っていく社会を目指して今後共活動をしていきます。是非一度お立ち寄り下さい。

◆ ◆ ◆
この原稿は同志社大学宗教部発行『レゴ』第十四号(一九八七年六月発行)に掲載されたものの一部です。

「障害」児クラスが養護学校に通っているために、いわゆる「健常」児と交わる機会が、お互いに少ないので、日曜学校では、数少ない一緒にいる場となっています。本来ならば、一緒にいることが自然な姿であるのと言った方がいい事だと思います。

◆ ◆ ◆
その他、開設時からセンターの中心のプログラムであった文庫活動や、ボランティア講座の開講など様々な事業に取り組んでいますが、一九八五年六月より始めた地域住民が集うための学習会の活動を最後に紹介いたします。

◆ ◆ ◆
その会は、向島・差別と人権を考える会、向島には、在日韓国・朝鮮人や、被差別部落出身の人々、心身に「障害」のある人たちが少なくありません。これらの人々の人権を考え、差別のない地域社会を共に築いていくこと、地域の「障害」者や、人権問題に関心を持つ人たちが作られました。今まで、外国人登録法の問題から、在日韓国・朝鮮人の人権問題や、京都の公立小・中学校に押しよせてきた「日の丸・君が代」の強制の問題、また、「障害」者の人権の問題などに取り組んできました。この会では、ただ単に学習するだけではなく、問題の解決に向けて微力ながら行動を積みかさねてきております。

愛隣館研修センター
共に育ちあえるつどいの場
貸室・貸ホールやっています。
近鉄向島駅 徒歩5分 ☎075-621-3849

布花教室ごあんない

布花を初歩からレッスンいたします。
手作りのお花で、お部屋を飾ったり、プレゼントしたり、とても楽しい夢がひろがります。
どうぞ、お気軽に見学にお越しくださいませ。
*レッスン 月2回(第2、第4金曜日) AM10:00~12:30
*場所 愛隣館研修センター(越野喜代美 ☎07745-2-2553)

向島青少年空手教室生徒募集
* 毎週月曜日午後6時~7時半と7時半~9時
* 愛隣館研修センター
* 入会金3,000円、月謝3,000円



小林さん(後宮俊夫・代表の主催で、約五十人が訪れました。)

後宮さん講演

地域の目の丸「君が代問題」を考えた、「向島に押しよせてきた『日の丸』」が代「君が代」について考える集いが三月七日、愛隣館研修センターでありました。向島「日の丸」が代「君が代」の強制に反対

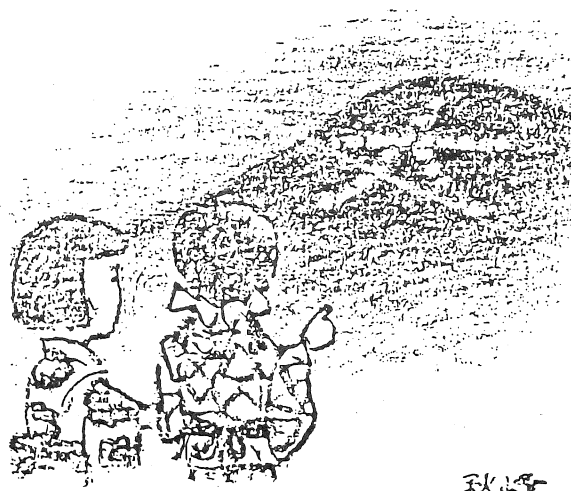
センター夏の行事

◇教会学校夏期キャンプ◇土曜学校(四歳児から小学

校(二年生まで)は7月27、28の両日、田辺町の雑創の森学園... 8月9日午後4時から7時までの三時間、愛隣館研修センター。劇「パネルディスカッション」ビデオ「はだしのゲン」の上映バザーなど

映画の中で、いちばん印象的だったのは、障害を持った子供たちが、クラスの友だちとどうやって付き合っているか、楽しんで遊んでいるか、学校生活を送っているか、など、

山口先生のお話を 映画を見て き聞をと



たとえば「障害」児教育と 山口正和さん講演会

映画「たとえば『障害』児教育」の上映と山口正和・豊中市立東丘小教諭の講演会が五月一日、愛隣館研修センターであり、約百人が訪れました。同実行委員会の主催。山口先生のお話を聞いて

育ててよ心

自分がまわりのことにかまけてばかり、本当恥ずかしい。育ててよ心。なごやかなだと思いたい。実際、この子にどう、うれし

「武器なき敵」上映会。使用済み切手運動をお手伝い。お年寄り、患者さんに花のプレゼント。はんでん祭りバザーに協力して

未生流生花教室生徒募集。場所 愛隣館研修センター。月3回木曜日 6,000円。申し込みは 依藤 (611・4466) へ

塾生募集。小・中学生若干名。英・数・国 週二回。一クラス五名以内の小人数型。愛隣館研修センター

ヤマハ音楽教室。ピアノ科、エレクトーン。スクール、幼児科、三歳児ランド。お問い合わせは、愛隣音楽センター (622-8546)